

日本発ドイツ便り : Alles in Ordnung と Gemütlichkeit

ドイツ人はプライベートと仕事を完全に分けて考えます。

優先させるのはもちろん「プライベート」。

約4-5週間の有給休暇のうち3-4週間は当然「まとめて」取るし、1年前から休暇の予定を立てて、自分がこの時期に休暇を取ると決めたら何が何でも休みます。そんなこんなで早くから予定を立てるので、クリスマスが終わり、年明けとともに、「夏の旅行」のためのホテルとか航空券予約の広告なんかがどんどん入ります。

子供のいる家庭だと、やはり学校の休みに合わせて夏に休暇を取る人が圧倒的に多いと思います。(そして大多数は太陽を求めて海とか湖とか、水辺に移動するんです!) 夏の全国的な民族大移動+働く人がいない、という事態を多少なりとも避けるため、ドイツでは州によって少しずつ学校の休みの開始と終了時期をずらしてあるんです。

社会人も、残業はよっぽどの変った人が自分で事業をやっているような人しかしないし、そもそも残業するような人は「能力がない」とみなされてしまいます。

ドイツの朝は早く、始業が7時なんて会社も珍しくありません。朝早い時間から仕事して、遅くとも17時には家に帰って、18時には食事して、片付けてから友達と飲みに行ったり、映画を見に行ったり買い物や散歩に出たり、習い事に行ったりします。お店は20時くらいまで開いているし、閉まった後もウィンドウショッピングを楽しむ人も多いです。レストランだってよほど小さな街でない限りは24時あたりまで開いています。映画館もドイツ人が行くのは基本夕方以降なので、午後くらいからポチポチ営業開始です。(夕方18~19時位までは来る人が少ないので、日と時間によってはすごく安く見られます。) 加えて、都会は電車やバスだって夜中まで動いていますし、週末は終電後だけ運行するバスの路線だって存在します。(あと、サッカー開催日はもちろん特別ダイヤで運行です。)

そもそも地方分権が進んでいて、都会に一極集中、という構図ではないので、日本のように通勤に1時間とか2時間かける人はかなりの少数派です。そしてその分一日の中でもプライベートに使える時間は長いです。もちろんONとOFFはきっちり分けるので、家に仕事を持って帰るなんて発想からしてないと思います。

そんな感じで、日本人とはまったく違った環境と価値観で暮らしているドイツ人達が日常的の会話の中でよく(好んで)使う言葉をいくつか紹介してみたいと思います。

一つ目は「Alles in Ordnung」(アレス・イン・オールドヌング)。

日本語にすると「大丈夫」英語に訳してしまうと Everything OK てなことになるのですが、ドイツ語のニュアンスは、「すべての事項が整然としていて(秩序立っていて)上手く機能している」状態を意味しています。ドイツ人が「好ましい」と感じるのがこの状態。ドイツらしい??かな?

Alles in Ordnung?と語尾を上げて使うと「大丈夫?」という意味合いにもなります。他にも「muss sein : ~でなければならない!」という言い方も良く使うドイツらしいと私が思うフレーズです。

例えば pünktlich (プンクトリッヒ : 時間に正確な) とかまあ秩序や整然さを求めるのは、私たちのもつ「ドイツ人」的イメージと一致するところですかね?

もうひとつのキーワードは、Gemütlichkeit (ゲミュートリッヒカイト)。日本語に訳すと「心地よさ」。形容詞になると gemütlich (ゲミュートリッヒ) となります。どんな状態なのか?とドイツ人に言わせると「例えば、ある寒~い日の午後。外は風が強く雪が降っていて、出かけたくないような天気。自分は温かい快適な部屋にいて、特にしなければならぬ仕事もなく外出の必要もなく、外の雪を眺めつつ、お気

に入りのソファに腰掛けて、温かい飲み物でも飲みながら、好きな本を読んで過ごす…」とか「太陽燦々のビーチ、冷たいドリンクを用意して、ビーチチェアに横たわり、海からの風を感じながら日常から解放されて日光浴…」(ドイツ人が例を挙げて説明しだすと、こんな感じで、状況はよく分かるんですが、詳細かつ長くなります。)と言うような心身共にリラックスした心地良い状態のことなんだそうです。あとは週末に森を散歩する(そしてその後の美味しいビール)、というのもドイツ人のお気に入り。

gemütlich の対極にあるのが stressig (ストレッシヒ) という言葉で、これまた非常によく使うネガティブワード。

仕事が忙しい。何かの期限が迫っている。車の渋滞。急な出費。人間関係が上手くいかない。などなど、大小問わずあらゆる種類の精神的ストレスを感じた際に頻発される言葉です。

(例えば、クリスマスは日本のお正月と同じような感じで、基本家族で過ごす日。プレゼントの準備や帰省、家族・親族との付き合いなど、これまたストレスを感じる機会の多い時期でもあります。クリスマス前になると雑誌なんかで「ストレスを感じないクリスマスの過ごし方」なんて毎年特集がありますよ。)

あとは、日本語ではあまり使うことないと思いますが、日常的に使われる Schimpfwort (日本語に訳すと、罵詈雑言とか悪態とか) の種類は豊富です。でもこれはわざわざ使うもんでもないし、使いかたにも注意が必要+私がお伝えするものでもないの、ここでは省略! (私は、日本ではまず誰にも何言ってるかわからないので、ついドイツ語で毒づいてしまう事ありますけどね…。) ☺
よく使う言葉から、ちょっとドイツ人が見えてくるかな??

